

令和3年度プログラム 新規作品他

* 題名横の註はサウンド情報。*はモノラル（濃淡型）、**はドルビー（ステレオ/SR）、***はドルビーデジタル（SR-D）。

新規作品

Iプログラム

1990年代以降に登場した自主映画出身の監督たちが軽快に描く、“熱中する人々”への人生讃歌。

Shall we ダンス?**（1996年・周防正行・大映＝日本テレビ放送網＝博報堂他・136分）出演＝役所広司、草刈民代、竹中直人
 がんばっていきまっしょい**（1998年・磯村一路・フジテレビ＝ポニーキャニオン＝アルタミラビクチャーズ・119分）出演＝田中麗奈、清水真実、中嶋朋子
 キツツキと雨***（2011年・沖田修一・「キツツキと雨」製作委員会・128分）出演＝役所広司、小栗旬、高良健吾、山崎努
 死に花**（2004年・犬童一心・「死に花」製作委員会・120分）出演＝山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、松原智恵子

Jプログラム

1990年代以降に日本映画の新たな顔として活躍を続ける監督たちが描く、様々な家族のドラマ。

愛を乞うひと**（1998年・平山秀幸・東宝＝角川書店＝サンダンス・カンパニー・135分）出演＝原田美枝子、中井貴一、國村隼、うじきつよし
 GO**（2001年・行定勲・「GO」製作委員会・135分）出演＝窪塚洋介、柴咲コウ、大竹しのぶ、山崎努
 ゆれる**（2006年・西川美和・「ゆれる」製作委員会・119分）出演＝オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、真木よう子
 幻の光（1995年・是枝裕和・テレビマンユニオン・110分）出演＝江角マキコ、浅野忠信、内藤剛志、木内みどり

再登場作品（過去、本事業で上映していた作品）

Bプログラム

世界の映画史に大書される巨匠の小津安二郎監督が親と子の関係静かに見つめた、戦後の代表作を紹介。

麦秋（1951年・小津安二郎・松竹・125分）出演＝原節子、笠智衆、杉村春子
 東京物語（1953年・小津安二郎・松竹・136分）出演＝原節子、笠智衆、東山千栄子
 彼岸花（1958年・小津安二郎・松竹・118分）出演＝佐分利信、有馬稲子、山本富士子
 秋刀魚の味（1962年・小津安二郎・松竹・113分）出演＝岩下志麻、笠智衆、岡田茉莉子

Gプログラム

1960年前後に登場した、戦後の若き映画監督たちによる革新——人間の意志と情熱を大胆に描き出し、その感性と輝猛なバイタリティで観客を魅了する作品群を紹介。

豚と軍艦（1961年・今村昌平・日活・108分）出演＝長門裕之、吉村実子、南田洋子

Hプログラム

1980年代以降、日本映画の顔として活躍してきた監督たちの意欲作を紹介。

転校生（1981年・大林宣彦・日本テレビ放送網株式会社＝ATG・113分）出演＝小林聡美、尾美としのり